



# 春日小だより

平成29年4月30日  
練馬区立春日小学校  
校長 泉崎 春海  
学校通信 5月号

## みどりの中で ～様々な体験を～

校長 泉崎 春海

空は澄みきり、初夏を感じるような強い日差しの日もあれば、冷たい雨が降る日もあるといったように、今年の春の天候はよく変わります。

春先に寒い日が続いたために、ふだんより生長が遅かった草花が、今、一斉に花を咲かせ、葉を広げています。少し前までは、「やっと芽が出た」と思っていたスズランは、小さく可憐な花を咲かせています。藤棚に目を向けると、いつの間にか、藤の花が凜とした姿を見せています。色とりどりの花が咲き、木々の緑が美しい春日小の春です。

昨年度は、全学年がアサガオ、トマトやピーマンなどの野菜、大豆、ヘチマやゴーヤ、稲、ジャガイモなどを栽培しました。北校庭には、りんご園がありますが、去年は、受粉をしたものの、気候や病気のせいで残念ながら実はなりませんでした。今、りんごの木は、淡いピンク色の花をたくさん咲かせていて、木の近くに行くとほのかに甘い香りがします。そろそろ受粉の季節を迎えたようです。

これから、それぞれの学年では、生活科や総合的な学習の時間、理科などで、栽培するものを決めて植物を育てていきます。

早速、六年生は理科の学習で使うじゃがいもを植えました。4年生も、緑のカーテンに使うプランターの土を耕しました。

当たり前のことですが、植物は種をまいただけ、苗を植えただけでは育ってはいきません。こまめに水をやり、肥料をやり、雑草を抜くなどの世話をこそ、初めて育っていきます。でも、この「当たり前のこと」を続けることが、子供たちにとっては結構難しいことなのです。雨がたくさん降っているのに水をやってしまったり、逆に何日も良い天気が続いているのに水やりをしなかったり…。ちょっと見ない間に、植木鉢が雑草だらけになっていたりすることもあります。

このように、時には失敗もしながら、「自分たちの植物」を「自分たちの力」で世話をして育てる中で、植物が育っていくことへの大きな喜び、植物を育てることの大変さや難しさなど、様々な体験を通して学んでほしいと思います。そして、植物という「命」を育てる中で、植物をはじめとした他者を慈しむ心をはぐくんでいってくれることを願っています。



花がたくさん咲いている北校庭のりんごの木

## 【5月行事予定】

日	曜	行 事 予 定	日	曜	行 事 予 定
1	月	全校朝会 委員会活動(5・6年)	16	火	尿・ぎょう虫検査(2次)
2	火	遠足(1・2年) 尿・ぎょう虫検査予備日			保護者と教職員の会総会
3	水	憲法記念日	17	水	避難訓練
4	木	みどりの日	18	木	児童集会
5	木	こどもの日	19	金	カスガモランド
6	土		20	土	
7	日		21	日	
8	月	全校朝会 あいさつ運動(6年)～12日 B4時程(1～3年) B5時程・クラブ活動(4～6年)	22	月	全校朝会 運動会係活動(5・6年)
9	火	5時間授業開始(1年)	23	火	運動会全校練習
10	水	消防写生会(1・2年) 安全指導 眼科健診(全学年)	24	水	運動会全校練習
11	木	遠足(1・2年)予備日	25	木	運動会全校練習
12	金	A4時程	26	金	A4時程(1～4年) A5時程(5・6年) 運動会前日準備(5・6年)
13	土		27	土	運動会
14	日		28	日	運動会予備日
15	月	全校朝会 運動会特別時間割始 運動会係活動(5・6年)	29	月	振替休業日
			30	火	
			31	水	

